

令和7年 木曾広域連合第4回定例会行政報告

令和7年11月28日

本日、木曾広域連合第4回定例会を招集しましたところ、議員の皆様には、何かとご多用の中、ご出席いただきありがとうございます。日頃から木曾広域連合行政に対し、ご指導、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今月19日九州大分市佐賀関^{さかのせき}で、大規模火災が発生し170棟以上が延焼し、多くの方が被災されました、この寒空の下大変なことと思います。心よりお見舞い申し上げます。また、国内各地で熊の出没が相次ぎ、多くの被害者が発生しています。気候変動等の影響でしょうか、今までになかった現象であります。郡内でも被害者が発生していることを踏まえて、10月20日に長野県林務部長に対し木曾郡の6町村長で熊対策に係る要望活動を実施したところです。

先月10月21日に石破内閣が総辞職し、第104代内閣総理大臣に日本史上初の女性総理として高市早苗氏が就任されました。あわせて、ガソリン税の暫定税率の廃止が6党間で正式に合意され、低・中所得層を直接支援するための「給付付き税額控除」や児童手当に上乗せする「子ども臨時給付金」など、21兆円規模の経済対策が実施される見込みとなってきました。今後の施策を注視するところです。

広域連合内においても、10月に執行された王滝村議会議員選挙にともなって、下出謙介^{したでけんすけ}議員、薩川宏史^{さつかわひろし}議員が連合議員として選出されました。また11月には木曾町長・木曾町議会議員選挙が執行され、加藤真和^{まさかず}町長が就任されるとともに、下島里美^{しもじまさとみ}議員、原田徹哉^{はらだてつや}議員、松井淳一^{まついじゅんいち}議員、栩本力^{とちもとちから}議員、児野光九仁^{ちこのみつくに}議員、大目富美雄^{おおめふみお}議員が広域連合議員として選出されました。広域連合行政にご尽力いただくとともに、両町村行政の繁栄を祈念申し上げます。

また、本日より新たな体制でのスタートとなりますが、議員各位のご理解ご協力を何卒お願い致します。

次に、8月定例会以降の各課の事務事業について報告します。

□総務課

○ 令和8年度採用の木曾広域連合職員採用 2 次試験を 10 月 18 日に実施しました。一般職 1 名、消防職 3 名を採用内定しました。また消防職員は採用計画に基づき不足分を補充するため、現在 2 次募集を行っています。

○ 本年 7 月 8 日、阿部知事を特別顧問とする「木曾地域広域連携推進会議」において、長野県が木曾広域連合に参画することが決定されました。以後、関係者間で協議を重ね、10 月 23 日の臨時正副連合長会において規約改正案を取りまとめたところです。

つきましては、各町村議会においては、当該改正案の議決をお願いいたします。本定例会の全員協議会でも改めて説明しますが、木曾地域の将来に向けた重要な取り組みでありますので、議員各位のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

□地域振興課

○ 第3回となる日本遺産木曾路サミットを、9月1日木祖村村民センターにおいて開催しました。開会前には、構成文化財のひとつである「お六櫛の技法」について職人の実演をご覧いただきました。サミットでは、基調講演のほか、木曾地域の文化財活用を進めるために「木工芸品の魅力を伝えていくには」をテーマに、8市町村長のほか、講演者、お六櫛組合、観光庁の皆様によるパネルディスカッションが行われ、木曾路全体の更なる連携に期待が高まりました。

○ 地域間交流事業では、8月29日「春日井市森林整備作業体験ツアー」に36名が参加し、木祖村こだまの森付近の村有林で森林整備作業、木曾町おもちゃ美術館での木工体験を楽しんでいただきました。9月6日には「名古屋市民の森づくり」に44名が参加し、木曾町戸立^{とだて}町有林で森林整備作業を行った後、大桑村へ移動して阿寺溪谷でのハイキングや歴史民俗資料館での縄文土器の色塗り、木曾ひのきの箸づくり体験を楽しんで頂きました。

また、下流域自治体のイベントでは、木曾ひのきの箸づくり体験やボールプール遊び等、木に関わる体験を通じて森林整備や森林保全の啓発を行いました。

○ 文化庁による日本遺産継続審査の再審査に伴う現地調査が、9月18日に塩尻市奈良井宿で実施されました。審査委員からは実施体制における民間活用やマーケティングを含めてプロデュースできる人材の必要性、日本遺産木曾路のストーリーを伝えるための施設や情報発信等について厳しいご意見をいただきました。再審査での審査委員意見を踏まえた「日本遺産を通じた地域活性化計画」を10月に文化庁へ再度提出しました。結果の公表は12月末の見込みとなっています。

○ 広域観光の推進体制への取り組みや専門的人材が不足する中、本年4月からは、県職員2名に広域連合に併任していただき、日本遺産への対応や広域観光の体制づくりの検討を進めて貰っています。共通する課題に対して迅速に対応しながら、観光資源の活用や情報発信の一体性が期待でき、県の参画により、広域観光について実効性ある戦略を策定できる環境が整いつつあります。今後は、こうした協働の枠組みをさらに発展させ、民間事業者や地域住民を巻き込んだ持続可能な観光モデルの構築を目指していきます。

□森林整備推進室

○ 森林経営管理業務は、これまでに6町村で37団地1,388haの経営管理権を取得、うち19団地539haの経営管理実施権配分計画の公告を終えました。引き続き構成町村と連携を図りながら、対象森林の調査業務を進めてまいります。

□交通政策室

○ 本年度4月から、「きそバス」の運行に向け準備を進めてまいりましたが、予定通り10月1日から運行開始となりました。出発式当日には多くの報道機関に取材いただき、テレビ等で報道されるなど、社会や地域の期待の大きさを実感したところです。改めて、これまでの関係の皆様のご協力に感謝申し上げます。

「きそバス」の10月の1か月の利用者実績は、13,709人で、1日平均利用者は442人、新設の路線、新たな休日便もあり、前年度との比較が単純にはできませんが、利用者も順

調に推移しております。今後も利用状況を注視しながら、いただいたご意見や感想等も参考に、適切な時期にダイヤ改正等も含め改善を図ってまいります。

□健康福祉課

- 10月3日、後藤衆議院議員及び厚生労働省森光^{もりみつ}医政局長に対し医師確保に係る要望活動を行い、医師偏在を解消する仕組みの構築、奨学金制度の拡充による地域医療に貢献する医師への経済的支援などを要望してまいりました。
- 10月14日、「全国介護保険広域化推進会議」の総会が都内で開催され、介護保険制度充実を求める決議事項を要望書として、厚生労働省黒田老健局長に提出してまいりました。
- 11月25日、木曽病院の分娩停止の決定に伴い、遠方での出産に対する支援として出産宿泊協定をルートインジャパン株式会社と締結しました。当日は、関^{せき}長野県副知事が立会人となり、ルートインジャパン株式会社と6町村長が協定書に署名、協定を結びました。今後は妊婦さんの希望により、分娩医療機関近隣にあるルートインホテルでの宿泊が安定的に確保され、安心して分娩に臨む環境が整備されることとなります。

□環境課

- 11月20日に、循環型地域づくり懇談会で、電気の地産地消を行っている恵那電力株式会社を視察しました。

□建設課

- 9月4日、「木曽地域交通網対策協議会 木曽地域国道19号整備促進期成同盟会部会」並びに「木曽地域治水対策協議会」は、国土交通省飯田国道事務所（中川所長他）、木曽川

上流河川事務所（高橋副所長他）、中部地方整備局（森本局長他）を訪問し、木曾地域の国道19号整備促進に関する要望及び木曾地域の治水対策事業の整備促進に向け、積極的な支援をお願いしてまいりました。

- 10月2日、「長野県南部国道連絡会」では正副会長により^{ひろせ}廣瀬 国土交通省技監へ要望を行うとともに、地元選出国會議員（後藤衆議院議員）と木曾郡6町村長が面談し、国道（19号、256号、361号）の整備促進を要望いたしました。また、要望活動終了後には地元選出国會議員（後藤衆議院議員、宮下衆議院議員）との意見交換会が開催され、長野県南部地域の国道の更なる整備促進に向けた貴重な意見交換が行われました。
- 10月3日、「木曾地域国道19号整備促進期成同盟会部会」、「木曾地域治水対策協議会」の首長により、国土交通省（^{くつかけ}沓掛 道路局長・林 水管理国土保全局長）、財務省（山川 主計官）と面談し「国道19号の整備促進」及び「木曾地域の治水対策事業の整備促進」の更なる支援をお願いしてまいりました。
- 11月6日、中部5県で構成される「中部国道協会促進大会」が開催され、木曾郡6町村長が出席しました。長野県代表として私南木曾町長が意見発表し、大会終了後には正副会長による^{しおみ}塩見 国土交通審議官への要望活動に続き、国土交通省幹部（沓掛 道路局長他）との意見交換会が行われました。国道19号の雨量通行規制区間の解消を含め、木曾地域の国道の更なる整備促進に向け要望してまいりました。

□情報センター

- ケーブルテレビ加入者が契約情報をインターネットで確認できる仕組みである「マイページ」機能の追加と、加入者から要望の声が多かった「利用料のクレジット決済」の導入を実施することとなり、10月より運用を開始しました。それぞれ利用登録が順調に進んでいます。（11/12 現在 マイページ 88 件、クレジット 31 件）今後も引き続いて、ケーブルテレビ利用者の利便性向上に向けた取り組みを検討してまいります。

- 今年度の元気づくり支援金事業として実施中の「ドローンを活用した住民支援基盤構築」事業は、現在、災害時などに活用できる町村間ルートを構築中のほか、11月12日には、住民へのドローンの披露と飛行の理解促進のため、木曽町、木祖村、王滝村にてデモフライトを実施しました。今後もドローンの有効活用に向けた施策検討を進めてまいります。

□木曽文化公園

- 9月14日（日）に、木曽郡内の中学校、高校の吹奏楽部や社会人団体による「木曽吹奏楽フェスティバル2025」が開催され、郡内外から約320人に来場いただき様々な団体の演奏をお楽しみいただきました。
- 9月19日（金）には、「田中^{あやこ}彩子ソプラノ・リサイタル2025」を開催し、超高音域の澄み渡る歌声と楽しいトークを堪能いただきました。
- 9月20日（土）には、「宇宙と星空スタディツアー」を伊那文化会館との共催事業として開催しました。伊那文化会館の「プラネタリウム上映会」、「東京大学木曽観測所見学」「オリジナル天体望遠鏡づくり」を20組の親子に楽しんでいただきました。
- 9月28日（日）には、東京大学木曽観測所との共催事業による「天文台特別講演会」を開催しました。「彗星の謎 予測通りにならないから面白い」と題した講演に郡内外から多くの方に聴講いただきました。
- 10月24日（金）には、「藤巻^{ふしまきりょうた}亮太 ^{アコースティックツアー} Acoustic Tour 2025」を開催し、繊細な歌詞やメロディーを堪能いただきました。
- 11月16日（日）には、「木曽ダンスフェスタ2025」を開催し、県内外から延べ600の方に来場いただきました。また、ゲストとしてアメリカで行われた「ダンス国際大会」で優勝した伊那谷の高校生に素晴らしいダンスを披露いただきました。

□環境センター

- 緑聖苑では、9月に3基目の火葬炉補修工事が完了し、10年に1度の大規模補修が終了しました。次の工事は1基目が7年後の予定となります。
- 環境センターでは、11月1日から貯留槽の防蝕工事を行っています。12月中旬には完了の予定です。

□木曽クリーンセンター

- 木曽クリーンセンターでは後期工事として、10月20日から11月20日まで焼却炉及びクレーンの補修工事を行い、ごみの搬入制限に利用者の協力をいただきました。
- 灰処分の現地確認として、町村担当者と共に10月15日に秋田県小坂町、11月5日に三重県伊賀市の現地視察を行い、適正に処理されている事を確認しました。その際、所在地の役所を訪問し、お礼と引き続きの受け入れを依頼してきたところです。

□消防本部

- 9月14日(日)王滝村総合防災訓練に併せて、「消防フェア2025」を王滝小学校において開催しました。あいにくの天候でしたが、多くの方に防火・防災体験をしていただきました。
- 11月5日(水)松本市安曇の奈川渡ダムに転落した作業員の水難救助活動のため、松本広域消防局から消防相互応援協定に基づく応援要請があり、翌日6日(木)に水難救助隊及び水中ドローン隊、延べ9名を派遣しました。今年度配備した水中ドローンを使用して早期に要救助者を発見し、潜水隊員により水深約8メートル地点に沈んでいた要救助者を救出しました。

- 木曾広域消防本部第8代消防長だった楯^{たて} 啓^{けい}二^じさんが、第45回危険業務従事者叙勲「瑞宝双光章^{すいほうそうこうしょう}」を受章され、11月14日（金）に伝達式を挙行しました。木曾広域連合では、4人目となる栄誉ある受章です。
- 本年1月から10月末までの火災件数は、5件（前年比7件減）で、4月13日以降、火災は発生していません。また、救急出動件数は、1,455件（前年比9件減）で、このうち熱中症と診断された方が34人（前年比3人増）となっています。

今回、提出の議案であります。条例改正3件、令和7度補正予算が3会計の3件、の全6件でございます。各議案につきましては、事務局長から提案し、その詳細につきましては担当課長より説明します。なお、定例会の閉会後に全員協議会を予定しております。ご審議の程、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。行政報告とさせていただきます。